

2019年10月25日

八千代工業株式会社
(JASDAQコード 7298)

土田選手、第39回大分国際車いすマラソン大会に出場

八千代工業株式会社（以下、ヤチヨ）に所属する車いすアスリートの土田和歌子選手が、2019年11月17日（日）に開催される第39回大分国際車いすマラソン大会に出場します。

土田選手は、リオデジャネイロパラリンピック出場後、クロストレーニングとしてスイミングおよびハンドサイクルを取り入れた経緯からパラトライアスロンに挑戦、2018年1月からは、車いすマラソンからパラトライアスロンに競技を転向し、国際大会を中心にPTWCクラスでトップの戦いを続けてきました。

今回、母国日本でのパラリンピック開催まで1年を切り、土田選手は、競技人生の多くをかけてきた車いすマラソンでもTOKYO2020に出場したいという思いを強く持つに至りました。

また、公益社団法人日本トライアスロン連合様、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟様をはじめ、関係する皆さまのお力添えにより、今般、土田選手が、パラトライアスロンおよび車いすマラソンの両種目に挑戦できることとなりました。土田選手は、この環境を大切に活かし、日本のパラリンピアンが今後、複数種目に積極果敢に挑戦していける道を切り拓きたいと考えました。

これらのことから、土田選手は、TOKYO2020の車いすマラソン出場資格獲得に向けた選考大会となる、第39回大分国際車いすマラソンに出場します。

土田選手との出会いからこれまで共に歩んできたヤチヨは、土田選手の強い志とチャレンジングスピリットを最大限に尊重し、土田選手の競技活動を引き続き強力にサポートしていきます。

また、ヤチヨは、障がい者スポーツの発展と当社内におけるカーボン技術の構築を目指して、「1秒でも速く」、「風をきって走る喜び」を多くの競技者の方々と共有したいという理念のもと、Hondaの陸上競技用車いすの取り組みにおいて、ものづくり会社ならではの高い技術力を駆使したカーボンレーサーの製造を担っています。今後も引き続き、陸上競技用車いすを進化させ、障がい者スポーツの発展に寄与してまいります。

■ 土田和歌子選手のコメント

今回、4年ぶりとなる大分国際車いすマラソン大会に出場させていただくことになりました。昨年、パラトライアスロンへの競技転向を表明させていただきましたが、選手として最後になるであろう自国開催のパラリンピック、そして車いすマラソンへの想いが重なり、本大会への出場を決めました。TOKYO2020出場に向けた第一歩となる本大会では、まずは自分と向き合い、久しぶりのマラソンを楽しみたいと思います。

パラトライアスロンおよび車いすマラソンの両競技に取り組むことは、フィジカル面・メンタル面でとてもよい相乗効果を生んでいます。それぞれの競技でのTOKYO2020出場権獲得を目指し、全力で取り組んでいきます。皆さま、応援のほどよろしく願いいたします。

以上

■ 本件に関するお問い合わせ
経営戦略室 広報ブロック
(埼玉県狭山市柏原 393 TEL 04-2955-1211)